

## 各委員の項目別評価及び意見等の一覧

### ●医療サービスの向上に向けた取組

項目	評価	大江委員	加茂委員	阪上委員	谷田委員	土岐委員
(1) 急性期病院としての機能充実						
①がん医療の充実	C	院内感染に伴う入院受入制限があったとはいえ、計画を下回っている。	C 努力を評価する。	C 院内感染に伴う入院受入制限があったとはいえ、計画を下回っている。	A ｺﾏ対応と一般診療の両立に努めた結果として計画を下回ったのであれば、寧ろ実績を維持できていることは評価できる。	B 前年度実績を下回っていることは気になる。
②救急医療の充実	B	応需率の低下は気になるが、受入件数の増加は評価できる。	B 件数増加を評価する。	B 応需率の低下は気になるが、受入件数の増加は評価できる。	A 市内の救急医療体制が確保されていたのであれば、応需率の低下は問題ない。受入件数の増加は評価できる。	A 件数増加を評価する。
③質の高い医療を提供するための体制・設備の整備	B	ダヴィンチ手術について、消化器外科での使用開始を踏まえ、令和5年度実績の増加に期待する。	B 循環器内科の医師数減は、課題を残す。	B 実績を維持できている。	A ｺﾏ対応と一般診療の両立に努めたことを考慮すれば、実績を維持できていることは評価できる。	B 実績を維持できている。
(2) 地域医療への貢献						
①地域の医療機関などとの役割分担・連携強化	B	紹介件数等が前年度実績を上回っていることは評価できる。	B 紹介件数等が前年度実績を上回っていることを評価する。	C 計画を下回っている。診療所訪問はもう少し件数伸ばしていただきたい。	A ｺﾏ対応と一般診療の両立に努めたことを考慮すれば、実績を維持できていることは評価できる。	B 紹介件数等が前年度実績を上回っていることを評価する。
②地域包括ケアシステムの構築を念頭に置いた取組	B	実績を維持できている。	B 実績の維持を評価する。	C 一部指標について、前年度実績を下回っている。	A ｺﾏ対応と一般診療の両立に努めたことを考慮すれば、実績を維持できていることは評価できる。	B 実績を維持できている。
③地域の中核病院としての貢献	A	紹介率等が計画及び前年度実績を上回っていることは評価できる。	A 紹介率等が計画及び前年度実績を上回っていることを評価する。	B 実績を維持できている。	A ｺﾏ対応と一般診療の両立に努めたことを考慮すれば、実績を維持できていることは評価できる。	A 紹介率等が計画及び前年度実績を上回っていることを評価する。
④地域に不足する医療機能への対応	B	実績を維持できている。	B 実績の維持を評価する。	B 実績を維持できている。	A ｺﾏ対応と一般診療の両立に努めたことを考慮すれば、実績を維持できていることは評価できる。	B 実績を維持できている。
⑤生涯教育の充実	C	代替措置であるWeb配信の実績が少ないことは残念。	C 市民へのPRを優先課題と考えるので、障害を克服してほしい。	C ｺﾏ禍とはいえ代替措置も含めて実施できていないことは残念。	- ｺﾏ禍で計画どおり実施できない状況にあり、評価できない。	C ｺﾏ禍とはいえ代替措置も含めて実施できていないことは残念。
(3) 患者サービスの向上						
①職員への意識啓発	B	問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。
②情報発信の強化	B	問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。
③療養環境の改善	B	問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。
(4) 危機管理体制の充実						
①災害時医療への対応	B	問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。
(5) 職員の意識改革と組織変革						
①職員のアクティビティとモチベーションの向上	B	問題なく実施できている。	B 目標管理制度の導入に際し、分かりやすく納得できる内容となるよう工夫してほしい。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。	B 問題なく実施できている。
②組織の活性化	B	問題なく実施できている。	A 新型ｺﾏ対応が必須のなかでの努力を評価する。	B 問題なく実施できている。	A この間のｺﾏ禍での変化に対応していることを以て、組織が活性化していると言える。	B 問題なく実施できている。

各委員の項目別評価及び意見等の一覧

●経営の健全化に向けた取組

項目	評価	大江委員	加茂委員	阪上副会長	谷田委員	土岐会長				
(1) 病床稼働率の向上										
①地域の医療機関などとの連携強化による医療機能の利用促進	B	計画を下回っているが、院内感染に伴う入院受入制限があったためやむを得ない。	C	優先課題であり、実績が計画を下回ったことは残念である。	C	院内感染に伴う入院受入制限があったとはいえ、計画を下回っている。	B / A	コロナ対応と一般診療の両立に努めた結果として計画を下回ったのであれば、寧ろ実績を維持できていることは評価できる。	C	新入院患者数の獲得は経営上の重要課題であり、十分な成果が現れているとは言い難い。
②地域包括ケア病棟の利用促進	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③緩和ケア病床の利用促進	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④病床稼働率確保に向けた体制の整備	C	院内感染に伴う入院受入制限があったとはいえ、計画を下回っている。	C	院内感染の発生・病棟体制の変更などへの対応が求められるが、実績が計画を下回ったことは残念である。	C	院内感染に伴う入院受入制限があったとはいえ、計画を下回っている。	B / A	稼働率の低下はコロナ感染拡大や院内感染の影響であり、寧ろ実績を維持できていることは評価できる。	C	稼働率向上は経営上の重要課題であり、十分な成果が現れているとは言い難い。
(2) 診療単価の増加										
①適切な診療報酬の確保	A	診療単価は計画及び前年度実績を上回っている。	B	実績の維持を評価する。	B	実績を維持できている。	B	数字的には問題ない。	B	数字的には問題ない。
(3) 費用の適正化										
①診療材料費の適正化	B	数字的には問題ない。	B	不断の圧縮努力をしてほしい。	B	数字的には問題ない。	-	医業収益比率での評価はアンフェアであり、評価できない。	B	数字的には問題ない。
②後発医薬品の積極的な利用	A	90%を超えて加算1を取得できており、評価できる。	A	加算1の取得を評価する。	A	90%を超えて加算1を取得できており、評価できる。	A	90%を超えて加算1を取得できており、評価できる。	A	90%を超えて加算1を取得できており、評価できる。
③職員給与費対医業収益比率の改善	C	対医業収益比率は計画を下回っている。	C	本項目は、経営の健全化を図る柱の一つであり、事実を直視したうえで総合的な取り組みが必要である。	C	対医業収益比率は計画を下回っている。	A	経常収益比率では非正規も含めて50%台を維持できており、評価できる。	C	本項目は、経営の健全化を図る柱の一つであり、十分な成果が現れているとは言い難い。